令和８年（2026年）１１月２７日

保護者の皆様

札幌市立盤渓小学校
校長　佐藤　正樹

全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、４月２３日に実施しました全国学力・学習状況調査（調査対象：６年生）につきまして、本校児童の今回の調査結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。今回の調査結果で見えてきた課題は、学校全体の課題として捉え今後の指導に生かしていきたいと考えております。

なお、本調査結果は、学力の中の特定の一部分に基づくものであり、全ての学力を網羅し評定を示すものではありません。また、本校で対象となりました６年生の保護者の皆様には、既に個人票を配付しております。

教科に関する調査結果から

【国語に関する調査の結果概要及び課題と改善の方向性について】

【今回の調査における課題】

➢文章を読んで話や文章の種類とその特徴（比喩や反復などの表現の工夫等）について的確に捉えること。

➢集めた情報から必要な内容を抜き出し、自分の考えが伝わるように筋道立てて書くこと。

➢文章を読んで理解したことに基づき、自分の経験と結び付けて考えをまとめること。

【課題改善の方向性】

➢文章の種類や筆者の表現の工夫に着目させ、文章の特徴や効果を読み取る学習活動の充実。

➢収集した複数の情報から必要な要素を選び出し、目的や条件に合わせて条件に沿った文章を構築・記述する学習活動の充実。

➢読んだ内容を自分の経験や知識と関連付けながら振り返り、最後まで自分の言葉で意見・理由をまとめる学習活動の充実。

【算数に関する調査の結果概要及び課題と改善の方向性について】

【今回の調査における課題】

➢複数の条件が重なる二次元の表から目的の数値を正確に読み取ること。

➢問題の条件や目的に合わせて、四捨五入を用いて適切に概数処理を行うこと。

➢提示された場面や条件を正しく捉えて立式することや、「なぜその式になるのか」「どのような考え方で求めたのか」という思考のプロセスを言葉や式を用いて分かりやすく説明すること。

【課題改善の方向性】

➢複雑な表や資料から条件に合うデータを正しく選択し、目的に沿って判断・活用する学習活動の充実。

➢四捨五入の基本的な仕組みの定着を図るとともに、問題の問われ方や条件に合わせて正しく概数処理ができるような学習活動の充実。

➢問題の場面を正しく読み取って立式する習慣をつけるとともに、「なぜその式になるのか」「どのように考えたのか」という思考のプロセスを、言葉や式を用いて他者にわかりやすく説明・記述する言語活動の充実。